

学校統合に伴う通学等に関する基本方針 (概要版)

◆方針策定の背景・目的

背景

・「町田市新たな学校づくり推進計画（2021年5月策定）」において、市立小中学校の「新たな通学区域」「学校候補地」及び「新校舎使用開始目標年度」を定め、2040年度までに小中学校の通学区域の見直しを進めています。

2025年4月には、適正規模・適正配置と教育環境の整備を着実に推進していくため、推進計画の一部修正を行っています。

・第1期5地区（本町田・鶴川東・鶴川西・南成瀬・南第一）については、2023年3月に策定した地区ごとの「新たな学校づくり基本計画」の中で「通学負担の軽減策」として路線バスの利用可否を検討し、路線バスが利用可能と結論付けています。

・第2期11地区において、路線バスが運行していない又は運行しているが直通便がないため乗り換えが必要となる地域があり、新たな通学負担の軽減策について検討することが求められています。

目的

本方針は、学校統合に伴う児童・生徒の通学等の負担軽減を図るため、実現性の高い軽減策の検討に関する基本的な考え方を示します。

また、2032年度までに基本計画の検討着手を予定している第2期11地区および既に基本計画を策定している第1期5地区について、本方針で整理した基本的な考え方を基に、2024年10月時点での児童・生徒分布、路線バスの運行状況から負担軽減策のシミュレーションを行い、各地区における負担軽減策を示します。

なお、第3期8地区については、推進計画において、基本計画の検討着手時期が具体的に決まった段階で検討します。

◆方針の基本的な考え方および検討フロー

方針の基本的な考え方

本方針では、2024年10月時点での児童・生徒分布を基に、以下の考え方に基づきシミュレーションを行い各地区の通学等負担軽減策を示します。

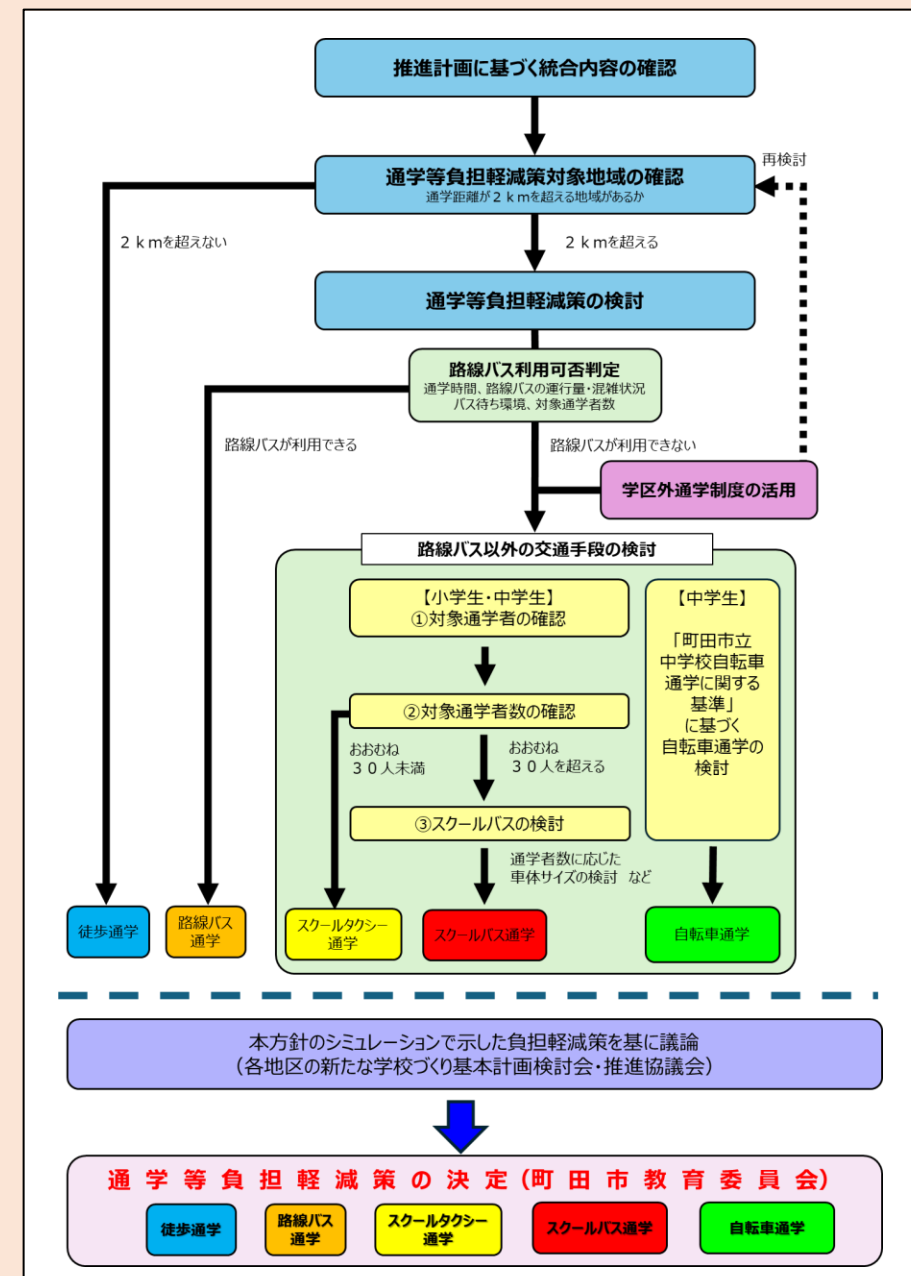
なお、実施の判断にあたっては、学校統合時の対象通学者数や路線バスの運行状況などを考慮して、**各地区の基本計画検討会および新たな学校づくり基本計画推進協議会の中で議論した上で、町田市教育委員会が決定します。**また、決定した各地区における通学等負担軽減策については、あらかじめ検証項目及び時期を設定した上で、各地区の実情等に応じて見直していきます。

検討の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩での通学距離が2 kmを超える児童・生徒 ⇒通学時間がおおむね30分程度を目安として、通学等ができるように配慮する。 	
検討の順序	①路線バスを最大限活用 路線バスの状況調査（通学時間、運行量、混雑状況、学校近くのバス待ち環境、対象通学者数）を行い、利用可否を判定し路線バスを通学等に活用	
	②路線バスが利用できない場合 対象人数に応じた路線バス以外の交通手段（スクールタクシー、スクールバス）各地区における実情、安全性、利便性、経済性、柔軟性及び実現性を総合的に勘案して検討	
	対象通学者数	路線バス以外の交通手段
	おおむね30人未満	スクールタクシー
	おおむね30人～50人	スクールバス（マイクロバス）
おおむね50人を超える	スクールバス（大型バス）	

学童保育クラブの登降所	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日や長期休業日の登降所や最長19時までの開所時間を考慮 ・自家用車による保護者の送迎のための駐車スペースを校内に確保 ・小学校と同様に、路線バスが利用できない地区について、対象人数に応じた路線バス以外の交通手段（スクールタクシー、スクールバス）を検討
学区外通学制度の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・複数校から通学先を選択できる地域の設定や、通学距離を考慮して指定された学校より近い近隣校への通学を可能とする制度の整備など、通学負担の軽減に繋がる学区外通学制度を検討
自転車通学	<ul style="list-style-type: none"> ・天候等による影響を受けやすく、恒常的な通学手段とすることは難しいことから、スクールバス、スクールタクシー通学と併用して、中学生が選択できる交通手段として位置づけ ・自転車通学の許可については、「町田市立中学校自転車通学に関する基準」に基づき各学校にて決定
受益者負担	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の事例を踏まえ通学費補助金の自己負担額と同程度の負担

通学等負担軽減の判定フロー

基本的な考え方を基に整理した下記の判定フローに沿って、第2期11地区および第1期5地区の通学等負担軽減策の検討対象地域の確認を行います。あわせて、2024年10月時点での児童・生徒分布、路線バスの運行状況から各地区における負担軽減策のシミュレーションを行います。



◆各地区における負担軽減策検討対象一覧

通学負担等軽減策が必要な地区、供用開始年度、学校位置等を着色

	地区	統合年度	仮校舎 使用開始年度	新校舎 供用開始年度	学校位置 (新：新校舎、仮：仮校舎)	仮校舎	新校舎
1	本町田東小学校、本町田小学校及び町田第三小学校の統合 (本町田ひなた小学校)	2025 2028※1	2025	2028	仮：(旧)本町田小学校 新：(旧)本町田東小学校	通学距離が2kmを超える地域なし	通学距離が2kmを超える地域あり
2	南第二小学校と南成瀬小学校の統合 (成瀬小学校)	2025	2025	2028	仮：(旧)南成瀬小学校 新：(旧)南第二小学校	通学距離が2kmを超える地域なし	通学距離が2kmを超える地域なし
3	鶴川第四小学校と鶴川第三小学校※2 の統合(鶴川中央小学校)	2026	2026	2029	仮：鶴川第三小学校 新：鶴川第四小学校	通学距離が2kmを超える地域あり	通学距離が2kmを超える地域なし
4	鶴川第二小学校と鶴川第三小学校※2 の統合(鶴川東小学校)	2029	2029	2033	仮：鶴川第三小学校 新：鶴川第二小学校	通学距離が2kmを超える地域あり	通学距離が2kmを超える地域なし
5	南第一小学校の建替え	-	2027	2030	仮：南中学校 新：南第一小学校	通学距離が2kmを超える地域なし	通学距離が2kmを超える地域なし
6	南第三小学校と南第四小学校の統合	2034	2030※3	2034	仮：南中学校 新：南第四小学校	通学距離が2kmを超える地域なし	通学距離が2kmを超える地域なし
7	小山田小学校と小山田南小学校の統合	2035	2030※4	2035	仮：小山田南小学校 新：小山田南小学校	通学距離が2kmを超える地域なし	通学距離が2kmを超える地域あり
8	町田第六小学校と高ヶ坂小学校の統合	2031	2031	2035	仮：高ヶ坂小学校 新：町田第六小学校	通学距離が2kmを超える地域あり	通学距離が2kmを超える地域なし
9	町田第四小学校の建替え	-	-	2036	新：町田第四小学校	-	-
10	山崎小学校と七国山小学校の統合	2035	-	2035	新：山崎中学校	-	通学距離が2kmを超える地域なし
11	成瀬台小学校と成瀬中央小学校の統合 成瀬台中学校の建替え※5	2035	2035	2039	仮：成瀬中央小学校 新：成瀬台小学校・中学校	通学距離が2kmを超える地域なし	通学距離が2kmを超える地域なし
12	相原小学校と大戸小学校の統合	2037	2037	2041	仮・新：相原小学校	通学距離が2kmを超える地域あり	通学距離が2kmを超える地域あり
13	薬師中学校と金井中学校の統合	2028	2028	2031	仮：薬師中学校 新：金井中学校	通学距離が2kmを超える地域あり	通学距離が2kmを超える地域あり
14	町田第三中学校と山崎中学校の統合	2033	-	2033	新：(旧)本町田小学校	-	通学距離が2kmを超える地域あり
15	鶴川第二中学校と真光寺中学校の統合	2034	2034	2038	仮・新：鶴川第二中学校	通学距離が2kmを超える地域あり	通学距離が2kmを超える地域あり
16	堺中学校と武蔵岡中学校の統合	2037	2036※6	2040	仮・新：堺中学校	通学距離が2kmを超える地域あり	通学距離が2kmを超える地域あり

※1 2025年度に本町田小学校と本町田東小学校が統合し、本町田ひなた小学校が開校。2028年度の新校舎への移転に合わせて町田第三小学校が統合 ※2 鶴川第三小学校区の学区の一部は鶴川第二小学校区と鶴川第四小学校区に分割統合 ※3 南第四小学校の児童のみ仮校舎を使用 ※4 新校舎建設期間中、小山田南小学校の児童は、小山田南小学校の校地に建設する仮校舎を使用 ※5 新校舎建設期間中、成瀬台中学校の生徒は、成瀬台中学校を使用し、2039年度に小中一体型校舎として整備される新校舎へ移転 ※6 堺中学校の生徒は2036年度から使用し、武蔵岡中学校の生徒は2037年度から使用開始

◆本方針の今後の進め方

推進計画に基づく第1期5地区及び第2期11地区のスケジュールについては以下のとおりです。

今後の進め方については、各地区におけるスクールバス・スクールタクシーの利用状況や自転車通学の運用状況などを踏まえて、本方針の見直しを必要に応じて行います。

	地区	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
1	本町田東小学校、本町田小学校及び町田第三小学校の統合 (本町田ひなた小学校)	●			●													
2	南第二小学校と南成瀬小学校の統合 (成瀬小学校)	●			●													
3	鶴川第四小学校と鶴川第三小学校の統合 (鶴川中央小学校)		●			●												
4	鶴川第二小学校と鶴川第三小学校の統合 (鶴川東小学校)					●				●								
5	南第一小学校の建替え						●											
6	南第三小学校と南第四小学校の統合		●									●						
7	小山田小学校と小山田南小学校の統合		●									●						
8	町田第六小学校と高ヶ坂小学校の統合			●				●				●						
9	町田第四小学校の建替え				●								●					
10	山崎小学校と七国山小学校の統合						●					●						
11	成瀬台小学校と成瀬中央小学校の統合 成瀬台中学校の建替え							●				●				●		
12	相原小学校と大戸小学校の統合								●					●				●
13	薬師中学校と金井中学校の統合	●			●			●										
14	町田第三中学校と山崎中学校の統合		●								●							
15	鶴川第二中学校と真光寺中学校の統合						●				●				●			
16	堺中学校と武蔵岡中学校の統合								●						●			●



基本計画検討着手目標年度



新校舎使用開始目標年度



想定統合年度



校舎建設期間



リニューアル工事期間

◆通学等負担軽減策のシミュレーション結果一覧

2024年10月時点での児童・生徒分布、路線バスの運行状況から各地区における負担軽減策のシミュレーション結果は以下のとおりです。
シミュレーション結果については、基本計画検討会及び基本計画推進協議会の中で議論するための参考資料とします。

	地区	学校位置	通学期間	2024年10月時点の通学等負担軽減策のシミュレーション結果					
				通学距離が2kmを超える児童・生徒数	路線バス通学の可能性	スクールバス通学の可能性	スクールタクシー通学の可能性	学区外通学制度の活用可能性	自転車通学の可能性
1	本町田東小学校、本町田小学校及び町田第三小学校の統合 (本町田ひなた小学校)	仮校舎:(旧)本町田小学校	2025~2027	0人	—	—	—	—	—
		新校舎:(旧)本町田東小学校	2028~	①滝の沢周辺の地域 110人程度	×	○	—	○	—
②都立町田高校周辺の地域 50人程度	×			○	—	○	—		
2	鶴川第四小学校と鶴川第三小学校の統合 (鶴川中央小学校)	仮校舎:鶴川第三小学校	2026~2028	真光寺中学校学区北部周辺の地域 70人程度	○	—	—	—	—
		新校舎:鶴川第四小学校	2029~	0人	—	—	—	—	—
3	鶴川第二小学校と鶴川第三小学校の統合 (鶴川東小学校)	仮校舎:鶴川第三小学校	2029~2032	能ヶ谷三丁目、五丁目周辺の地域 15人程度	×	—	○	○	—
		仮校舎:鶴川第二小学校	2033~	0人	—	—	—	—	—
4	小山田小学校と小山田南小学校の統合	仮校舎:小山田南小学校	2030~2034	0人	—	—	—	—	—
		新校舎:小山田南小学校	2035~	①山中集会所周辺の地域 5人程度	×	—	○	—	—
②多摩丘陵リハビリテーション病院周辺の地域 20人程度	×			—	○	○	—		
5	町田第六小学校と高ヶ坂小学校の統合	仮校舎:高ヶ坂小学校	2031~2034	都立町田高校、南大谷周辺の地域 70人程度	×	○	—	○	—
		新校舎:町田第六小学校	2035~	0人	—	—	—	—	—
6	相原小学校と大戸小学校の統合	仮校舎:相原小学校 新校舎:相原小学校	2037~	大戸小学校学区の地域 100人程度	×	○	—	—	—
				相原坂下周辺から久保ヶ谷戸トンネルにかけての地域 35人程度	×	○	—	—	—

◆通学等負担軽減策のシミュレーション結果一覧

	地区	学校位置	通学期間	2024年10月時点の通学等負担軽減策のシミュレーション結果					
				通学距離が2kmを超える 児童・生徒数	路線バス通学 の可能性	スクールバス通学 の可能性	スクールタクシー 通学の可能性	学区外通学制度の 活用の可能性	自転車通学 の可能性
7	薬師中学校と 金井中学校の 統合	仮校舎:薬師中学校	2028~2030	現在の金井中学校学区の 金井ヶ丘三~五丁目周辺の地域 300人程度	× (対象生徒多)	○	—	○ 鶴川第二中学校	○
		新校舎:金井中学校	2031~	薬師ヶ丘自治会区域の一部の地域 30人程度	× (路線バスなし)	—	○	—	○
8	町田第三中学校と 山崎中学校の 統合	新校舎:(旧)本町田小学校	2033~	山崎中学校周辺から 鶴見川にかけての地域 85人程度	× (対象生徒多)	○	—	—	○
				都立町田高校、南大谷周辺地域 15人程度	○	—	—	—	
			2036~	忠生公園通り以北周辺にかけての地 域100人程度	× (対象生徒多)	○	—	○ 忠生中学校	○
			時期未定	薬師・金井統合新設中学校学区 における藤の台三丁目の地域 5人程度	○	—	—	—	—
9	鶴川第二中学校と 真光寺中学校の 統合	仮校舎:鶴川第二中学校 新校舎:鶴川第二中学校	2034~	真光寺中学校学区北部周辺の地域 65人程度	○	—	—	—	—
				三輪町・三輪緑山周辺の地域 245人程度	× (路線バスなし)	○	—	—	○
10	堺中学校と 武蔵岡中学校の 統合	仮校舎:堺中学校 新校舎:堺中学校	2037~	武蔵岡中学校学区の地域 110人程度	× (対象生徒多)	○	—	—	○
				小山ヶ丘小学校周辺から 小山白山公園にかけての地域 200人程度	× (対象生徒多)	○	—	—	○